

質問回答

NO.	質問	回答
1	質問 (1) [仕様書P.1 (1)ウェブサイトの移転及び維持管理]にて「令和5年度に使用するサーバーは環境省が指定するサーバー」とあるが「ウェブサイト移転後の維持管理に関する一切を行う」ともある。本業務の範囲において、移転後のサーバー費用負担は受託者側でしょうか？受託者側の場合、月間または年間のサーバー費用はいくらになりますでしょうか。また、移設先はどこ（AWS、さくらインターネット、政府共通PF等）になりますでしょうか。	移転後のサーバー費用負担は受託者側を想定しております。予定している移転先サーバーについては、環境省ホームページ統合基盤を予定しており、現環境省ネットワークシステムの一部となります。なお、こちらのサーバーには、環境省から業務を受託している管理事業者（R4・R5とも伊藤忠テクノソリューションズ株式会社）がおり、実務的には当該事業者と契約いただいて、連携いただく事を想定しております。
2	R4 年度、R5 移転後のサーバー構成はどのような内容でしょうか？（例えば、Web 用1 台、DB 用1 台など）また冗長構成でロードバランサーを配置するなど、Web サーバーの周辺装置がございますでしょうか。	移転に係るサーバ構成とその作業については、Webサーバ（VirtualHost設定、動作確認）、DBサーバ（OSユーザ設定、DBユーザ設定）、検証サーバ（OSユーザ設定、DBユーザ設定、VirtualHost設定、動作確認）を想定しております。これら移転の初期作業は、質問NO.1のサーバー事業者での作業を想定しておりますので、費用等については、当該事業者にお問い合わせ願います。
3	R4 年度、R5 移転後のサーバーOS、ミドルウェアはどのような内容でしょうか。またマルウェア対策ソフトや監視用エージェントアプリなど、独自にインストールされているソフトはございますでしょうか。有償ライセンスのものがあり、受託者側で費用負担が必要な場合、その月間または年間費用はどの程度でしょうか。	令和5年度のサーバーのOS等については、以下になります。 OS: RedHat Enterprise Linux ミドルウェア: Apache,PHP,PostgreSQL マルウェア対策ソフト、監視用エージェント等のソフトウェアの使用はありますが、その管理等は質問NO.1のサーバー事業者が実施することを想定しております。詳細については、当該事業者にお問い合わせ願います。
4	現行サイトは、CMS などWeb アプリケーションを用いておりますでしょうか。それとも、静的HTML のサイトでしょうか。Web アプリケーションを用いている場合、プラグイン、ミドルウェア(バージョン)、開発言語は何を使用していますでしょうか。	現行サイトは、静的HTML のサイトとなります。
5	サイトの運用において、YouTube、Twitter、Instagram やGoogle Analytics など、それぞれのアカウント管理・運用は受託者側で行う必要がございますでしょうか。	受託者側でのYouTube、Twitter、Instagram やGoogle Analytics などのアカウント運用は想定しておりません。
6	サイトの更新にあたり、事前に検証サーバーなど検証環境で貴省の確認が必要でしょうか。必要な場合、検証環境は貴省の提供でしょうか、受託者側での用意でしょうか。受託者側で用意が必要な場合、動作環境(サーバスペックやOS、必要なソフトウェア等)をご提示ください。	サイトの更新にあたり、事前に検証サーバーでの確認が必要となります。更新に係る検証サーバは、受託者側で別途ご用意をお願いいたします。
7	[仕様書P.1 3.業務の内容]にて「英語版については、令和5年3月までに環境省 HP に掲載予定」とあるが、2023/3/6 時点で「 https://shorisui-monitoring.env.go.jp/ 」の右上にある言語切替タブ(?)は機能していないように思われる。R5 年度開始までに英語版に関する業務や不具合は解消されている認識で良いでしょうか？R5 年度に英語版の残課題があった場合、その対応費用は追加請求可能でしょうか。	英語版については、3月6日時点では未掲載ですが、令和5年3月末日までに環境省 HP に掲載予定です。HP掲載後の、本業務期間中の英語版に関する業務については、仕様書（4）ウェブサイトの多言語化に記載しているとおりです。
8	多言語対応の中国語は簡体・繁体のどちらでしょうか。両方でしょうか。	簡体中国語のみで想定しております。
9	更新依頼から更新までが、スピーディな対応が求められていますが、更新時期は前もって予告があるのでしょうか。それとも、特に予告なく依頼があるのでしょうか。	モニタリングの結果を掲載する業務となりますので、業務開始後、モニタリングの年間スケジュールが得られ次第、共有させていただく予定となります。また、当省以外の機関のデータ掲載も業務に入っており、こちらのスケジュールについては、年間の概ねの予定回数と、過去の更新頻度を共有予定です。

10	<p>多言語の更新は、2回程度を想定とあります。一方で更新ルールについて、掲載表示の受付時間9:30から18:15までで、15:15までは当日3時間内、15:15以降は翌日11:00までに掲載の旨がございます。翻訳の必要な箇所を更新においても、ネイティブチェックを含めて当日3時間内での対応が求められるのでしょうか。</p>	<p>多言語の更新の2回程度については、仕様書(3)ウェブサイトのコンテンツの追加更新に対応するものであり、更新された日本語版の多言語版への反映を行っていただきます。データ掲載については、全ての言語版において、数値のみ、最新としていただく想定です。仕様書(2)ウェブサイトへのデータ掲載に記載の更新の時間制限については、(2)のデータ掲載作業にのみ適用するため、翻訳業務への適用はございません。</p>
11	<p>翻訳に係る追加更新の年間で発生する分量について、おおよそで構いませんので、文字数をご教示ください。</p>	<p>仕様書3.(4)②に記載した英・中・韓国語版サイトの更新(2回程度を想定)の分量については、1回の更新当たり、また1言語あたり、おおよそ現行HP文字数と同程度を見込んでおります。実際の分量については、契約締結後に協議させていただきます。</p>
12	<p>翻訳にあたって、本サイトで使用する(専門)用語集は提供されるという認識でありますでしょうか。</p>	<p>現時点では専門用語集の提供は想定しておりませんが、翻訳にあたって特に翻訳元となる日本語の意味などご不明点等ございましたら、随時環境省担当官にご相談下さい。</p>
13	<p>[仕様書P.23.業務の内容(2)ウェブサイトへのデータ掲載]で、データをマップ等に適した形式に変換するとありますが、どのような形式を想定されていますでしょうか。</p>	<p>マップを適切に表示するため、CSV形式の入力フォーマットを整備しています。ここで言う「変換」とは、環境省担当官又は環境省担当官が指示する事業者から提供するデータを、当該フォーマットに適切に記入いただくことを想定しています。詳細については契約締結後に環境省から指示します。</p>
14	<p>[仕様書P.23.業務の内容(3)ウェブサイトのコンテンツの追加更新]に関して、結果掲載用マップの機能・仕様を教えてください。</p>	<p>仕様書にある通り、作成する結果掲載用マップの機能・仕様は、既存のマップと同等となります。マップの機能は、https://shorisui-monitoring.env.go.jp/から御確認下さい。詳細については、契約締結後に指示します。</p>